

## 令和 5 年度 経営発達支援計画評価委員会

日 時：7月22日（月）午前10時00分～午前10時30分

場 所：扶桑町商工会館 2階会議室

テーマ：令和5年度経営発達支援計画の成果と課題

出席者：評価委員 曾我公彦（商工会長）西川英明（扶桑町役場都市政策課主幹）、  
加藤宏基（丹羽金融協会幹事）、青井裕樹（事務局）

内 容：

扶桑町商工会事務局・青井裕樹より、令和5年度の経営発達支援計画の実績と今後の課題ならびに令和6年度の支援事業計画についての説明がなされた。報告の要点については、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、経済活動が正常化に向かうなかで、少しずつ従来の事業を実施することができるようになった。創業率の向上については、女性創業塾やハンズオン支援を中心に、積極的に支援を図ることができた。展示会についても、メッセナゴヤ2023に3事業者と商工会で出展し、本格的にリアル開催の活況が戻るなか、出展事業者には販路開拓に大きな成果があった。また、全国の商工会で初めて「メタバース展示会」を開催した商工会においては、新しい販路開拓のモデルを紹介することができたが、具体的な商談案件は0であったことを踏まえて、事業者へのIT・デジタル化へのリテラシー向上が今後の課題とて浮き彫りとなった。事業計画策定支援についても、個別セミナーを中心として開催し、計画認定において一定の成果を得ることができた。しかし、補助金申請にかかる事業計画については、締切間近での相談でブラッシュアップすることが時間的にできなかった案件も多く、申請予定事業者への余裕を持った計画策定と提出時期の周知が課題となった。来年度については、人手不足への課題解決も含めて積極的に新しい支援に挑戦していきたい。以上の内容を中心に説明がおこなわれた。